

RIKKYO ADVERTISING CLUB OB SOCIETY

立教大学広告研究会OB会報

発行所 立教大学広告研究会OB会
〒104 東京都中央区銀座8-14-5 TEL(03)3541-5405

4号

通巻4号 1996年5月発行(毎年2回発行)

発行人 戸田 茂
編集人 黒岩俊隆

サマーフェスティバル

第2回キャンプ・ストアイン銀座

日時：一九九六年七月十九日(金)
(午後六時~九時半)

会場：銀座松屋正面・十字屋九階

会費：五千円

出演：鳥塚しげき(ワイルドワンズ)
44年卒



員も現執行部全員の留任、さらに伊藤隆一氏に新副会長への就任をお願いいたしました。

前会長がOB会の整備・基盤固めとして着手された、名簿の作成、会費の徴収、会報の発行等がようやく軌道に乗ってきましたこともあり、当面はこれらのさらなる充実に努めたいと考えております。そのため微力ではありますが、会員の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、少しでもOB会、並びに広研の発展に寄与すべく努力する所存です。

前会長がOB会の運営、幹事の方々には、テーマに応じお集りいただき、活発な意見、ご提案をいただきたいと思います。また代表幹事の皆様には幹事会の結果、執行部のお願い等を毎年次に引き続きお願いいたします。

一方、今後のOB会の運営、発展の活力源ともいえる、年度代表幹事の方々には、テーマに応じお集まりください。OB会を中心として講演会を実施することになりました。広研活性化の一助として、定期的に開催できるようになります。

OB会によっては代表幹事以外の会員にも随時加わっていただき貴重

O B会の新事業とし
て、現役とO B会の共同企画・後援による「広告セミナー」を立教大学を会場に開催することが決定し、現役共々積極的に準備を進めてまいりました。

講師として、どのような方を御招きしたらよいか、その人選に大変苦労いたしました。そこで現在広告業界の第一線で活躍しておられる

正通先輩(38年卒)にこの主旨をお話したところ非常に快くお引き受け頂きました。

柏木先輩は現在、紙を中心とした新しい広告分野に積極的に取り組んでお

媒体にした広告から、コンピューターを媒介にした新しい広告分野に

積極的に取り組んでお

る非常にお引き受け頂きました。

柏木先輩は現在、紙を中心とした新しい広告分野に積極的に取り組んでお

O B総会に届いた近況報

昭和三十二年度卒

川上 厚

今年から、年金を受取っています。それはそれで結構ですが、何がとうございました。

亡夫藤井寛も亡くなりまして14年余りになりました。この間ほんとうにあつという時間が過ぎて行きました。広研の皆様には本当に感謝申し上げております。ありがとうございました。

昭和三十四年度卒

多田(富沢)圭子
今年から、年金を受取っています。それはそれで結構ですが、何がとうございました。

亡夫藤井寛も亡くなりまして14年余りになりました。この間ほんとうにあつという時間が過ぎて行きました。広研の皆様には本当に感謝申し上げております。ありがとうございました。

昭和三十六年度卒

宮下 洋
今年から、年金を受取っています。それはそれで結構ですが、何がとうございました。

月末多忙で残念ですが、欠席です。

春日(賀来)寛子

日本オリエンテーリング協会に常勤しています。そのせいもあって1日1万歩以上歩いています。ご盛会お祈りいたしております。

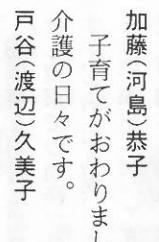
戸谷 渡辺久美子
「どこの同窓会?」と迷い、「多分広研」と思いお返事を書いております。欠席でごめんなさい。皆様によろしくお伝え下さいませ。

名古屋市に单身赴任して5年目になります。皆さんによろしく!!

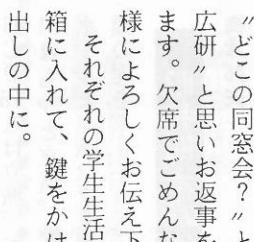
昭和三十六年度卒



昭和三十八年度卒



昭和三十九年度卒



昭和四十一年度卒



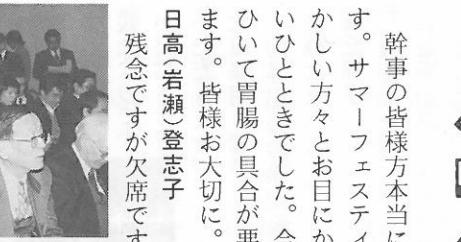
昭和四十年度卒



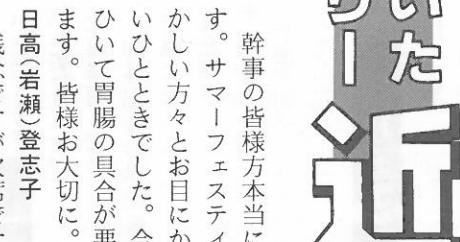
昭和四十二年度卒



昭和四十三年度卒



昭和四十四年度卒



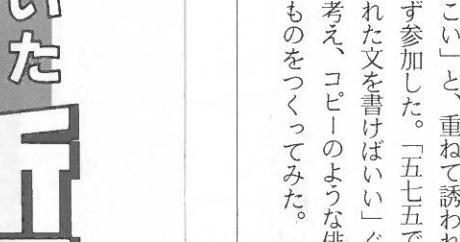
昭和四十五年度卒



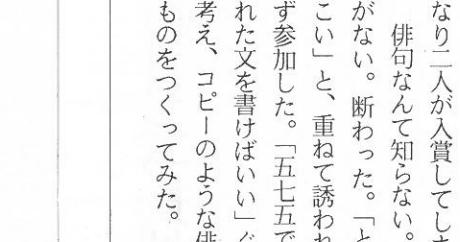
昭和四十六年度卒



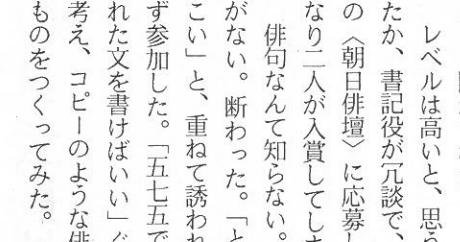
昭和三十七年度卒



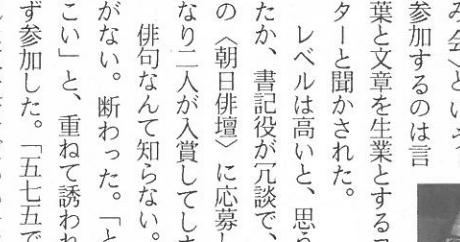
昭和三十八年度卒



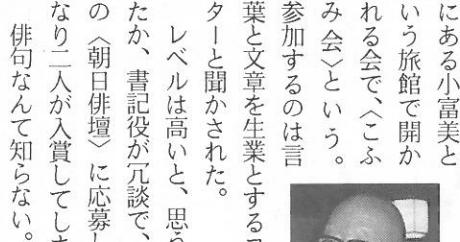
昭和三十九年度卒



昭和四十一年度卒



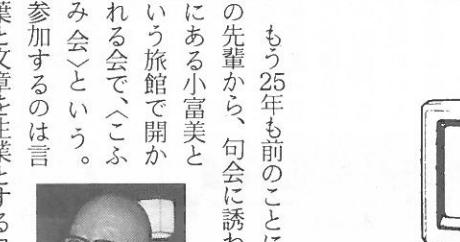
昭和四十二年度卒



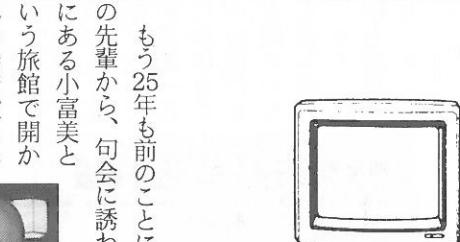
昭和四十三年度卒



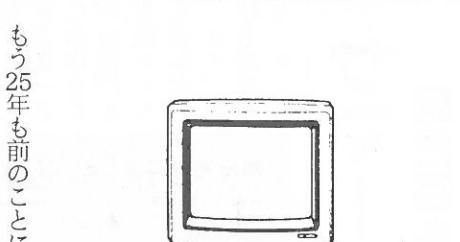
昭和四十四年度卒



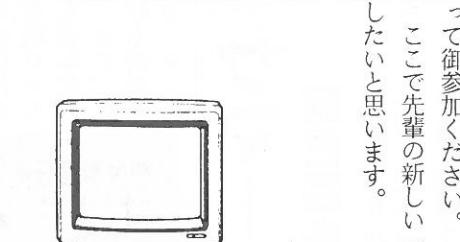
昭和四十五年度卒



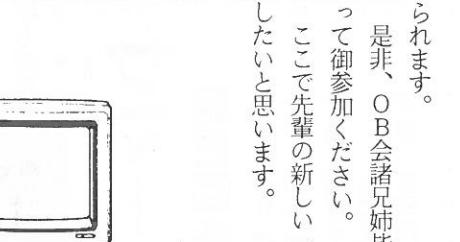
昭和四十六年度卒



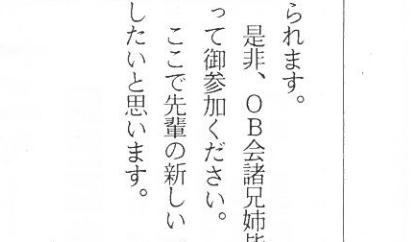
昭和三十七年度卒



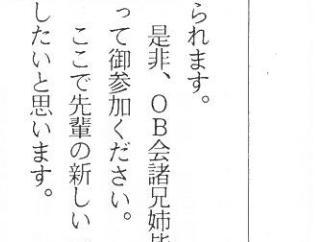
昭和三十八年度卒



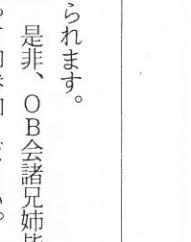
昭和三十九年度卒



昭和四十一年度卒



昭和四十二年度卒



昭和四十三年度卒



昭和四十四年度卒

昭和四十五年度卒

もう25年も前のことになる。同業の先輩から句会に誘われた。築地にある小富美という旅館で開かれる会で、「こぶみ会」という。

参加するのは言葉と文章を生業とするコピー・ライターと聞かされた。

レベルは高いと、思う。いつだつたか、書記者が冗談で、朝日新聞社の「朝日俳壇」に応募したら、いきなり二人が入賞してしまった。

俳句なんて知らない。やつたことがない。断わった。「とにかく出てこい」と、重ねて誘われ、とりあえず参加した。「五七五で、季語を入れた文を書けばいい」ぐらいに軽く考え、コピーのような俳句のようものをつくってみた。

一喜一憂しているのだ。
初めて「天」に選ばれたのがこれ。

昭和43年3月の句会だった。
「天」に選ばれた句を自選した。

雄猫も雌猫もどけ屋根替える
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

「天」に選ばれた句を自選した。
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

雄猫も雌猫もどけ屋根替える
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

「天」に選ばれた句を自選した。
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

雄猫も雌猫もどけ屋根替える
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

「天」に選ばれた句を自選した。
花散つて公園の奥の闇の濃く
新大橋を浴衣で渡る女あり
新米をテンテケテンと食しきれ

コピーのようなもの。 柏木不実(コピー・ライター)

梅の宿二人は頑と和解せず
バス降りて二人は夜へ花を踏む
既視感の中で日傘の女立つ
口紅を濃くして女サラダ食う
りぼんにはりぼんの軽さ秋の風
平成三年

耳を嗜み裏切るか否か春の間

地下鉄に浴衣の蝶の降りて舞う
口紅が滲む薄暑や魔の予感
涙には蝶の都合のろり行く
平成七年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成八年

耳を嗜み裏切るか否か春の間
地下鉄に浴衣の蝶の降りて舞う
口紅が滲む薄暑や魔の予感
涙には蝶の都合のろり行く
平成九年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十一年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十二年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十三年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十四年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十五年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十六年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十七年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十八年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成十九年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十二年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十三年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十四年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十五年

口紅で嘘のアドレス牡蠣フライ
裏切りし女よ峠に雪崩あれ
墨染めの和尚に磨く紅き梅
流水の噂や地階のどんづまり
平成二十六年

立教大学広告研究会OB会報

昭和三十二年度卒

藤井揚子(故藤井元OB会長夫人)

亡夫藤井寛も亡くなりまして14年余りになりました。この間ほんとうにあつという時間が過ぎて行きました。

